

ウェブサイト「国際平和拠点ひろしま」への不正アクセスについて（第3報）

令和6年12月30日（月）に発生した、ウェブサイト「国際平和拠点ひろしま」への不正アクセスについて、第2報（R7.1.8）以降の対応状況などは次のとおりです。

1 被害状況について

① 漏洩した可能性がある個人情報等

- ウェブサイト「国際平和拠点ひろしま」会員登録の際の入力項目
名前（ニックネーム）、年齢、居住都道府県／居住国（住所は任意）、メールアドレス、パスワード※1

追加

※1 ウェブサイト会員登録された方のパスワードは、登録完了時に自動的に暗号化され、設定したパスワードがわからないように変換されていることが判明。ただし、技術的な復元の可能性などについては、引き続き調査中。

- 当該ウェブサイトを通じて入力されたイベント（経済人会議等）申込時の項目
氏名、フリガナ、所属、参加者役職名、所属住所（県内・県外・国外から選択）、電話番号、申込者（本人／代理）、申込者との関係等、メールアドレス、参加予定日
- へいわ創造プラットフォームひろしまの登録団体（企業/団体）申込時の入力項目
企業団体名、住所、電話番号、ホームページURL、担当者所属、担当者氏名、メールアドレス（代表メールおよび担当者メール）、パスワード※2、企業団体の取組（事業内容やSDGsに関する取組等）

追加

※2 「へいわ創造プラットフォームひろしま」の登録パスワードは、暗号化されていないことが判明した。このため、同プラットフォームの登録企業・団体に対して、再度、登録パスワードの変更などについて注意喚起を行った。

- ② メールマガジン登録者への不審メールの送付
- ③ ウェブサイトのコンテンツデータが漏洩した可能性がある（詳細調査中）

2 被害者への注意喚起等

日時	内容
12月30日 第1報	- 書き換えられたウェブサイトと不審メールに個人情報が掲載された方々（3名）に、電話とメールで謝罪 - 連絡先を確認できた一部のメルマガ登録者に、メールでお詫びと注意喚起を実施
1月6日	当該ウェブサイトの会員限定ページを閲覧するためのパスワードも漏洩の可能性があることが判明
1月7日	新たに不審メールに個人情報が掲載された方（1名）に、メールで謝罪
1月8日 第2報	- 追加で連絡先が確認できたメルマガ登録者及びプラットフォーム企業団体（累計3,858名）に、メールでお詫びと注意喚起を実施 - 県公式ホームページに、不正アクセスにかかる最新情報と注意喚起、問い合わせのためのQ&Aを掲載（パスワードが漏えいしていた場合を想定し、パスワードを悪用した二次被害の防止や被害に遭われた際の対応方法等。）

1 月 14 日	・ ウェブサイト会員登録者に対するパスワードの暗号化の状況及び技術的な復元に関する継続調査について周知（3,705 名） ・ プラットフォーム企業・団体に対して、パスワードの暗号化が為されていないことを周知し、改めての注意喚起を実施（153 団体・個人）
1 月 15 日 第 3 報	・ 県公式ホームページに、最新情報を掲載

3 原因について

広島県警が捜査中であり、原因究明に向けて引き続き連携する。

4 サイト復旧について

再発防止に必要なセキュリティ対策を整理したうえで、対応を検討。